

276

276

供
尊
覽

對
支
政
策
ノ
一
考
察

衆議院議員 藤本捨助述

特 255

99



0010267-000

特 255-99

對支政策ノ一考察

藤本捨助・述

藤本捨助

昭和 12

ABJ

特255
99



謹
々
忠
靈
ニ
捧
グ

藤
本
捨
助



本稿ハ、昭和十二年十二月十五日、第一議員俱樂部ノ政務研究會ニ於テ、發表シタ卑見ノ一部ニシテ、
主査ノ委囑ニヨリ、遽ニコレヲ整序シタモノニ過ギヌ。幸ニ叱正ト、高教ノ榮ヲ賜ランコトヲ。

目次

序 說

第一款 殘敵ニ對シテ

一、無敵皇軍ノ躍進

二、敵勢力ノ内訌激發

三、斷乎宣戰布告

A、何故ニ宣戰セザルカ

B、宣戰布告ノ價值

四、支那ノ背後ニ踊ル勢力ヲ打倒

第二款 新政權ニ對シテ

一、新政權ノ本質

二、新政權ニ對スル助成

A、日支兩國ノ反省スベキ點

イ	何故ニ日本ハ排日、抗日、侮日サレルカ	三
ロ	支那ガ自潰ヲ欲セザレバ	五
B、	文化的方面	七
C、	經濟的方面	八
一	統制カ自由カ	八
二	農業政策	八
イ、	農民ノ貧困ナル理由	八
ロ、	農業振興策	九
三	交通政策	〇
四	金融政策	三
五	關稅政策	三
D、	政治的方面	三
結	語	三

對支政策ノ一考察

序 說

至尊ノ御稜威ト、天佑神助ト、精銳無比ナル皇軍將兵ノ忠烈ト、銃後國民ノ舉國一致ノ奉公トニ依リテ連戰連捷ノ戰果ヲ收メ、敵力難攻不落ト恃ミタル首都南京モ今ヤ脆クモ陥落シテ、敵將蔣介石ハ、ソノ豪語ニモ似ス身ヲ以テ逃レ、國民政府ノ威信マタ地ニ墜チテ泥土ニ塗レヌ。快報頻リニ飛ビ、皇軍ノ武威益々揚ルノ秋、今マタ中華民國臨時政府ガ更生支那ノ建設ヲ目指シテ呱呱ノ聲ヲアグ。ソノ肇造ノ理想ヲ見ルニ憐トシテ輝キ、ソノ神聖ナル使命ヲ遂行セントスル意氣モマタ極メテ壯デアル。日支ノ新ラシキ提携ヲ緊密ニシテ東洋永遠ノ平和ヲ招來スルタメ、寔ニ慶賀欣幸何モノカコレニ加ヘン。

シカシ、殘敵ハ尙抵抗ヲ止メヌ。新政府モ亦前途幾多ノ荆棘ニ充チタ路ヲ辿ラネバナラス。東洋ノ安定勢力トシテ、マタ善隣ノ友邦トシテ重責ヲ有スル我が國ハ、コノ乾坤一擲ノ關頭ニ立チテ、向後如何ニ善處スヘキカ。

第一款 殘敵ニ對シテ

徹底的ニ膺懲シテ之ヲ殲滅セシメネバナラス。シカシ、介石麾下ノ中央軍ハ中南支ニ蟠踞シテ、尙戰意

ヲ喪失シテ居ラス。ソ聯邦其他諸國ヨリスル軍需品ノ提供モ今尙潜行ヲ續ケテ居ル。加フルニ、江南ノ地ハ一舉ニ之ヲ馬蹄ニ蹂躪スルニハ餘リニモ廣イ。故ニ長期膺懲、而シテ十四日、近衛首相ガ談話ノ形式ヲ以テ國民ニ聲明セラレタルガ如ク、「南京陥落ハ全般的ナ支那問題ノ序幕デアリ、眞ノ持久戦ハコレカラ始マル」ノ決心ヲ要スル。提灯行列ハ、皇軍將兵ノ忠烈ニ對スル敬謝ノ意ト、コノ決意ヲ外ニ表示スルモノデアリ、マタ嚴カニコレヲ神靈ノ照覽ニ獻スルモノデアルベキデアアル。

殘敵膺懲ノ具體的方策トシテ次ノ如キコトガ考ヘラレル。

一、陸、海、空軍ノ協力作戰ニ依ル猛撃ノ繼續。

二、敵勢力ノ内訌ヲ激發シテ、反蔣ノ氣運ヲ醸生シ、又ハ煽動シテ之ヲ地方的ノ分離獨立ニ導クコト。

コレハ國際法ノ禁止スル害敵行爲ニ包含サレヌ。故ニ世界大戰ノ際、聯合國側ハ民族自決主義ニ依リテ獨塊殊ニ塊勾國ノ崩壊ヲ達成シタ。

1、クーデター實現

2、分離獨立ノ部隊ヲ見ル時ハ、コレニ物的（資金、兵器、彈藥等）人的（指導員、軍隊等）ノ援助ヲ考慮スルコト。

3、新政權ニ加盟スル様誘導スルコト。

4、宣傳戰ニ躍進スルコト。

一犬虛ニ吠エテ萬犬實ヲ傳フ、トハ支那ノ諺デアアル。古來支那ニ於テハ戰爭ノ勝敗ヲ決スルモノハ、兵

器ヨリモ、兵ノ士氣ヨリモ、賄賂ヲ伴ヒタル宣傳戰ノ方ガ、ハルカニ重大ナル價值ヲ有シタ。廣東ヨリ武裝蜂起シタ國民軍ガ、武漢ニ依據シテ支那ノ中原ヲ睥睨シタノモ、一戰ヲモ交ヘスシテ張作霖ヲ滿洲ニ逃亡蟄居セシメタノモ、近クハ又今次ノ事變ニ於ケル通州ノ邦人虐殺事件ノ如キモ、ミナコレ宣傳戰ノ力デアツタ。政府ハ國民使節ヲ歐米ニ派遣シテ、今次事變ニ於ケル我が軍事行動ノ正當性ヲ宣傳シテ居ルガ、ソノ價值モサルコトナガラ、足下ノ宣傳ノ方ガ更ニ緊要デアアルマイカ。最近伊、エ紛爭ヤ、西國ノ内紛問題ヤ、更ニ今次ノ支那事變ニ於テ遺憾ナク馬脚ヲ現ハシタルガ如ク、自國ノ國策ノ前ニハ、何物モナイ英國等ノ是認ヲ今更懇請スルヨリモ、可成的犧牲ヲ鮮クシテ、速カニ殘敵ヲ壊滅セシムル方ガ更ニ先決問題デアルカラダ。

宣傳ノ對象トシテ、殘敵ノ將兵、ソノ背後ニ躍動シテ指導的地位ニアル者、一般民衆、華僑等ガ考ヘラレル。ソノ方法トシテ、殘敵ヲ遠ル内外情勢ニ即應スベキデアアルガ、殘敵ガソ聯ノ指揮下ニ移行スレバスル程、ソ聯内部ノ窮狀ト、佛國ヤ、西國等ニ於ケル所謂人民戰線ニ依ル魔手ノ戰慄ニ値スヘキコトヲ指摘シテ、前轍ヲ踏マサル様警告スルコト。

三、斷乎宣戰布告ヲナスベキカ。

A、是非ノ論ハ慎重ニ之ヲ決定スルヲ要スル。シカシ、今ニ宣戰ノ布告ナキ所以ノモノハ奈邊ニアリヤ、コレヲ窺知スルニ由ナイ。シカシ、次ノ諸點ニ對スル狐疑逡巡ハ、想起サルヘキソノ理由ト見ルハ僻見ナリヤ奈何。尤モ、南京陥落後ノ蔣政權ヲ支那ノ一地方政權ト看做シテ、中央政府トシテノ法的地位ヲ

否認スルトセバ、固ヨリ茲ニ謂フ所ノ宣戰布告ハ、ソノ意味ヲナサヌ。

1、聯盟規約第十條、第十七條

聯盟規約第十條ノ規定ハ、提案ノ當初ヨリウキルソン大統領、スマツツ將軍、セシル卿、ハウス大佐、英國代表法律顧問ハースト、米國代表法律顧問ミラー諸氏ノ間ニ對立抗爭ノ異論ノアツタ所ニシテ、カナダ代表ノ如キハソノ削除ノ提案サヘシタ程デアアル。

規定ノ要旨ハ、聯盟國ニ對スル外部ノ侵略ヲ排撃シ、モシ侵略アル時ハ、聯盟各國ハ連帶責任ヲ以テ被侵略國ノ領土の保全ト、政治的獨立ヲ保障スルニアル。シカシ、茲ニ所謂侵略トハ何カノ決定ハ、常設ノ軍縮諮問委員會ヤ、臨時混合委員會特別委員等ガ、聯盟ノ第四回總會（一九二二）ニ報告シタ如ク至難ニシテ、總括的ニ侵略ノ定義ヲ言ヒ現ハスコトハ容易デナイ。加フルニ、外部ノ侵略アリタル場合ニ於テ聯盟國ガ被侵略國ノ領土の保全ヤ、政治的獨立ヲ現實的ニ保障スルコトハ更ニ困難ニシテ、米國ノ上院ガ媾和條約ノ批准ヲ審議スルニ當ツテ、「米國ハ第十條所定ノ領土の保全ヤ政治的獨立保障ノ義務ヲ負フコトハ出來ヌ米國海陸軍ノ使用ハ、米議會ノ同意ナシニ聯盟ノ命令デ動カスコトヲ得ナイト」決議シタコトニ依リテモコノ間ノ消息ヲ窺知シ得ル。最近特ニ集團的安全保障ノ機構トシテ鼎ノ輕重ヲ問ハレ、今ヤ正ニ氣息奄々タル聯盟ニトリテハ更ニ然リト言ハサルヲ得ナイ。況ンヤ、今次ニ於ケル我が國ノ行動ガ斷ジテ支那ニ對スル外的侵略ニアラズシテ、聯盟規約ト雖モ、コレヲ是認セル國家固有ノ自衛權ニ依ルニ於テオヤデアアル。更ニ第十七條ノ價值ハ、伊、エ紛爭ニ際シテ既ニ試驗済ミダ。

2、不戰條約第一條、第二條

シカシ、今次ノ事變ハ専ラ主權國ノ固有セル自衛權ノ發動ニ依ルモノニシテ、不戰條約ノ禁ズル國策ノ手段トシテノ戰爭デハナイ。而シテ何ガ自衛權ニ依ル戰爭ナリヤ、マタソノ範圍ノ如キモ、一ニ自衛國自ラ之ヲ判定シ斷ジテ他國ノ容喙ニ俟ツベキデナイコトハ、不戰條約ノ產婆役米國務卿ケロツグノ聲明シタ通りデアアル。

3、媾和ノ相手方ヲ苦慮シテカ

介石ハ打倒ノ相手ナルモ、媾和ノ目的タル更生支那建設ノ相手方デアアリ得ナイ。古キ革袋ニ新シキ酒ヲ盛ルベキデナイカラダ。彼ノ今日迄ノ行動ト、今後ニ於ケル彼ノ運命ガ何ヨリモ明白ニコレヲ示唆スル。介石ノ顛落後ハ親ソ派ガ主動的勢力トシテ擡頭スルデアラウガ、シカシ、コレモ亦固ヨリ講話ノ相手方トハナシ得ヌ。果シテ然リトセバ、如何ナル新政權ガコノ輝シキ使命ノ遂行ニ當ルベキカ、コレハ後述ノ如キ本質ヲ有スル事實上ノ政府ノ外ニアリ得ナイ。シカシ、事實上（*de facto*）ノ政府ハ國際法上國家ヲ代表シテ他國ト樽俎折衝スル法的資格ヲ有セヌ。茲ニ承認ヲ必要トスル。シカシ、承認ハ承認スル國家ノ政策ニ依リテ止揚サレルガ、決シテ義務的行爲ニ屬サヌ。故ニ承認ヲ拒絕シテモ決シテ國際法違反ヲ構成セヌ。マタ承認ノ主義ニ至リテモ、國ニヨリ、時代ニ依リテ必ズシモ其軌ヲ一ニセヌ。例ヘバ、一九世紀前半ノ頃、神聖同盟ノ諸國ニ採用セラレタル正統主義（*doctrine of legitimacy*）ヤ、トバル（*Tobur*）主義ヲ祖述セル憲法上ノ正統主義ノ如キコレデアアル。前者ハ「君權ハ神授ナルガ故ニ不可侵ナリ」トノ政治的觀念ニ

基ク。故ニコレヲ冒瀆スル一切ノ革命ハ不正ナルヲ以テ、革命ニヨリテ成立シタル政府ハ之ヲ承認スベキ
 デナイト云フニアル。シカシ、今日コノ主義ニ依ル國家ハ一モナイ。後者ハ、憲法ニ違反スル武力的手段
 ニヨリテ成立シタル革命政府ハ、之ヲ承認スベキデナイガ、シカシ、憲法ノ要求スル手續ニヨリテ大統領
 ノ選任セラレタル時ハ、之ヲ承認シテモ可ナリトスル主義ヲ云フ。米國ウキルソン大統領以來、ラテンア
 メリカ諸國ニ頻出シタル革命政府ニ對シテ適用セラレタ主義デアルガ、一九三一年二月國務卿ステイムツ
 ンハ、コノ主義ヲ改メテ事實上ノ政府ヲ承認スル政策ヲ踏襲スルニ至ツタ。

革命政府ヲ承認スルニハ、ソノ先行的條件トシテ、革命政府ニ國際法ノ要求スル國際的義務ヲ履行スル
 意思ト、能力ノ存在ヲ必要トスルノミナラズ、更ニ適法 (Legality) 政府ガ未ダ消滅セズシテ、事實上ノ政
 府トノ間ニ戰鬪ヲ交ヘテ居ル間ハ、コレニ承認ヲ與フルコトガ出來ヌ。於是、事實上ノ政府ヲ承認シテソ
 レト國際法上ノ交渉ヲ開始セシガ爲メニハ、何時、如何ナル條件ガ成就セバ、適法政府ノ消滅ト看做シ得
 ルカノ問題ガ提起サレル。次ハ微カ、コレヲ示唆スルデアロウ。

イ、戰鬪ガ革命軍ニ有利ニ終局シタル時。

ロ、適法政府ノ政治的實勢力ガ顛落シテ、領土主權及ビ人民主權ノ行使ガ單一地方ニ局限シテ、ソノ
 恢復不能ノ客觀的情勢ヲ看取シ得ルニ至リタル時。

4、支那ニ於テ、特ニ經濟的利害關係ヲ有スル諸國ノ關心ヲ刺戟スルコトヲ憂慮シテカ。

シカシ、支那ニ於ケル經濟的利益ノ享受ハ、先ヅ支那ノ秩序ト平和ノ確保ヲ必要トスル。今後我が國ガモ

シ宣戰ヲ布告スルトセバ、ソノ神聖ナル使命ハ、刻下ノ戰局ヲ神速ニ終局シテ、支那ノ秩序ト平和ノ招來
 ニ速效アラシメントスルニアル。故ニ、兵亂ヲ避ケ、一日モ早ク平和ノ招來ヲ翹望スル國ニトリテハ、我
 ガ國ノ宣戰布告ハムシロ歡迎セラルベキ筈デアアル。

今次ノ事變ヲ奇貨トシテ、支那ニ兵器彈藥又ハソノ他ノ軍需品ヲ賣リテ巨利ヲ占メテ居ル諸經濟團體ガ
 アル。コレガ自國家ノ中立義務ノ拘束ヲ欲セズ、マタ戰爭ノ長期繼續ヲ希望スルノハ、從來軍需工業會社
 ガ軍縮會議ノ成功ヲ妨ゲ、幾度カマタ戰爭ノ勃發ヲ誘導スルガ如キ策動ヲ敢ヘテシタ國際事例ニ徴シテコ
 レヲ理解シ得ル。シカシ、コノ射利的機會ハ我が國ガ宣戰布告ヲ斷行セバ、戰時禁制品ノ宣言ヤ海上封鎖
 ニヨリテ強制手段ヲ加ヘラルベキ運命ニ逢着スルガ故ニ、コレヲ喪失セザルヲ得ヌ。故ニ射利ニ盲目ナル
 ノ結果、自國家ヲ動カシテ中立義務違反ノ事端ヲ繁クシ、コレヲ遠リテ國際政局ヲ危殆ニ導ク紛争ノ生起
 スベキコトモ、コレヲ想像スルニ難クナイ。シカシ、戰爭參加ハ一國ノ國運ヲ賭スル所、決シテ區々タル
 經濟的利益ノ比デハアリ得ナイ。殊ニ皇軍ノ威力ハ既ニ列強ノ驚嘆セル所ナルノミナラズ、幾度カノ國際
 會議ニ於テソノ當否ハ別トスルモ、他國ヲ齒牙シテ國際法違反呼ハリヲシタ記憶ノマダ新タナルベキ國家
 ニ、國際法上明々白々タル中立義務違反ノ行爲ヲ自ラ爲シ得ルトハ思ヘヌ。況ンヤ、今ヤ英米ト言ハズ、
 ソ聯ト言ハズソノ國際的、國內的諸情勢ノ緊迫ニ依リテ國際紛争ノ擴大ヲ阻止セザルベカラザルノ急務ニ
 際會セルノ秋ニ於テオヤデアアル。

5、米國中立法ノ發動ヲ懸念シテカ。

本年五月一日發效ノ米國中立法ノ内容ガ

- 1、交戰團體（内亂ノ場合ニ於テハ、政府軍、革命軍ヲ含ム）ニ兵器、彈藥及ビ其ノ他ノ軍需品ノ提供ヲ大統領ノ自由裁量ニ依リテ禁止シ得ルコト。
- 2、資金ノ提供ヲ拒否スルコト、從ツテ米國人ガ交戰國ノ船舶ニ乘リテ渡航セザルコト。
- 3、現金支拂且自國船運搬ナルコト（Cash and Carry Plan）。中立法ガ支那ニ不利ナリト稱セラレルノハ、主トシテコノ條項ニ依ル。

等ヲ規定シタルモノナルコトハ、既ニ周知ノ事實デアアル。

中立法ガ宣戰ノ布告、又ハ戰爭狀態ノ存在ト同時ニ發動スルノハ、本法ノ固有スル性質デアアルガ、シカシ

- 1、ソノ拘束力ノ程度ハ大統領ノ自由裁量ニ俟ツ。
- 2、交戰團體ニ對シテ軍需品等ノ輸送ヲ禁止セルモ、第三國ニ對シテハ之ヲ禁止セヌ。茲ニ外交ノ餘地ヲ殘サザルカ。

3、伊、エ紛争ノ際伊國ハ本法ノ前身ナル申立法ノ適用ヲ受ケタガ、果シテ之ニ屈シタリヤ否ヤ。

4、我が國ニ對スル經濟封鎖ハ、封鎖國ノ我が國ニ對スル挑戰行爲ナルガ故ニ、無敵陸海空軍ヲ有スル我が國ハ、敢テ坐シテ自滅ヲ待ツベキデハアルマイ。

6、宣戰ノ布告ニ依リテ、日支間ノ既存條約ハ、ソノ政治的條約タルト社會的條約タルトヲ問ハズ一切消滅ニ歸シ、從ツテ在支國家機關及ビ在支同胞ノ引揚ゲ、邦人ニ對スル一切ノ通商禁止、商事契約ノ無效、

從ツテ敵國ニ對スル物貨ノ授受、運搬、海上火災ソノ他ノ保險契約、擔保ノ提供、有價證券ノ賣買授受、各種ノ支拂等ニ依ル利益ノ喪失、引揚ゲタル邦人ノ在支財産ニ對スル支那側ノ破壊沒收等ヲ結果スルガ故ニ、ソノ不利益ヲ顧念シテカ。

惟フニ、今次ノ事變ハ右諸權益ニ對スル支那側ノ不法侵害ニソノ端ヲ發ス。故ニ今ヤソノ禍根ヲ根本的ニ清掃スベキ秋デアアル。思ヘバ犠牲ハ餘リニモ大ダ。中南支數十年ノ權益ハ正ニ風塵ニ塗レ、マタ灰燼ニ歸シタ。シカシ、二度ト、更ニヨリ大ナル犠牲ヲ將來ニ反覆スルコトガナイ様ニ、國民ノ總デガ英雄トナリテ最モ效果的ナ方策ニ依リ、斷乎膺懲ニ邁進シ、以テ喪ハレタル權益ヲ明日ノ支那ニ恢復セネバナラス。B、宣戰布告ニツキ、尙前掲ノ如キ杞憂ノ論ヲ考ヘ得ルトシテモ、モシマタ宣戰ノ布告ニ依リテ一日モ速カニ戰局ヲ終熄セシメ、明朗ナル新平和ノ招來ニ對シテ、次ノ如キ效果ヲ期待シ得ルトセバ、是非得失ノ論ハソノ何レニ與ミスベキカ。

宣戰ノ布告ニ依リテ、之ヲ知り、又ハ之ヲ知り得ヘキ狀態ニアル第三國ハ一切ニ國際法上中立義務ヲ負擔スルニ至ル。故ニ、

1、中立國ハ、交戰國ニ對シテ公平ヲ維持スル義務、並ニ回避ノ義務ヲ負フ。從ツテ、假令所屬國民ガ交戰國ノ一ニ對シテ、兵器、彈藥ソノ他ノ軍需品ヲ提供シ、個人ノ資格ニテ從軍シ、又ハ公債ノ募集ニ應シテ軍用金ヲ供給スルガ如キ行爲ヲシテモ、學說上ノ否定ハ暫ク之ヲ措キ、現行ノ國際法上ノ義務トシテハ之ヲ禁遏スルコトヲ要シナイガ、シカシ、國家自ラコレ等ノ行爲ヲナシ得ナイ。所謂戰時禁制海運ニツ

キテモ亦同ジデア。故ニモシ、コレ等ノ義務ニ違反スル時ハ、加ヘラルヘキ強制手段ヲ受忍スルヲ要シ、マタ自國民ガ戰時禁制品ノ提供、封鎖區域ノ干犯ニ因リテ強制手段ヲ加ヘラレテモ、ソノ手段ガ違法ナラザル限り之ヲ救済スルヲ得ナイ。

2、我が海軍ノ平時封鎖ハ、茲ニ戰時封鎖ニ強化サレルガ故ニ、違法ニ封鎖ヲ干犯シテ出入スル中立國船舶ハ一切コレヲ拿捕シ、ソノ載貨ト共ニ沒收シ得ル(佛國主義)ニ至ルハ勿論、中立國ニ對シテ、コレニ因リテ生起スル一切ノ不利益ハ之ヲ受忍セサルヲ得ナイ義務ヲ發生セシム。コレト同時ニ、支那ノ宣傳スル長期抵抗ノ物的資材ハ、コレガタメニ、多ク遮斷サレルニ至ルデアラウ。

3、交戰國ハ交戰地域ニ於テ無差別的攻撃ヲナシ得ルニ至ルガ故ニ、コレガ作戰用兵ニ至便ナルハ勿論、マタコレニヨリテ生シタル損害ノ責任ヲ負擔スルヲ要セヌ。從ツテ事變以來英國ヨリ頻々トシテ受ケタルガ如キ抗議ハ、將來ニ於テソノ跡ヲ絶チ、マタソノ都度外務當局ガ小心翼翼トシテ陳謝其他ノ措置ニ惟レ努メタルガ如キコトハ、今後ハ不要ニ歸スデアラウ。

4、占領地ノ住民ヲシテ、事實上ノ主權者タル占領軍ニ對シテ服從ノ義務ヲ生セシメ、マタ占領軍ノ軍事行動ヲ妨害スルコトヲ禁止セシムルニ至ルハ勿論、占領軍ハ暫定的デハアルガ、占領地ニ對シ立法、司法、行政ノ政治權ヲ發生獲得スルガ故ニ、更生支那ノ新使命ヲ遂行スル新政權ノ擡頭ヲ容易ニスルデアラウ。

5、宣戰布告ノ大詔煥發スル時ハ、無敵皇軍ノ士氣ハ更ニ軒昂シ、銃後國民ノ奉公心ハ更ニ緊張スル。コレガ戰局ヲ我ニ神速有利ニ展開セシメ、マタ國內諸問題ノ改善ニ至大ナル寄與ヲナスヘキコトハ、敢テ茲ニコノ贅言ヲ要セヌ。

四、支那ノ背後ニ躍動スル某々國ニ對スル工作、

今次事變ハ單ナル支那事變デナイカラデア。詳細ハ他稿ニ譲ル。シカシ、彼我ノ衝突ハ、今次事變ヲ遠リテ窺知シ得ルガ如ク、所詮不可避ノ宿命ニシテ、唯時ノ問題ト云フ外ナイデアラウ。東洋ノ安定勢力トシテノ重責ヲ有スル我が國ハ、克ク活眼ヲ開キ、今ヤ危機ヲ胚胎スル國際情勢ヲ洞察シテ、何時、如何ナル事態ニ遭遇スルモ、毅然トシテコレヲ克服制覇シ得ル様措置シテ置カネバナラヌ。

第二款 新政權ニ對シテ

今次ノ聖戰目的ガ、他ノ二三國ノ杞憂スルガ如ク、支那大陸ヲ以テ我が國ノ植民地トスルニアルカ、又ハ日支間ノ明朗ナル親善提携ヲ企圖シテ、相互ノ共存共榮ト、東洋ノ恒久的平和ヲ確立スル使命ヲ遂行セシガ爲メ、ソノ前途ニ横ハル荆棘ヲ除去スルニアルカハ、帝國ノ建國以來昭々タル國是ニ徴シ、マタ近クハ事變以來再三中外ニ聲明シタル我が方針ニ依リテ明白デア。故ニ新政權ガ何人ニヨリテ、如何ナル地域ニ樹立セラルトモ、

一、ソノ根本的要請トシテ

- 1、排日、抗日、侮日ト云フガ如キ國際道徳、國際正義ヲ蹂躪シテ、日支ノ關係ヲ再ビ反目抗爭ノ危殆ニ導クガ如キモノデアツテハナラヌ。
- 2、支那ニ於テ何國ノ國民、又ハ權益ト言ハズ其ノ正當ニ存在セルモノニ對シテハ、コレヲ尊重シテ不

法ニ冒瀆又ハ侵害セサルモノデナケレバナラヌ。

3、ソノ領土主權及ビ對人主權ヲ、支那ノ一部又ハ一部國民ニ限ラズ、全支ニ且ツ四億六千萬民衆ノ爲メニ行使スル可能ヲ有シテ、全般的國民幸福ノ増進ニ寄與スルモノデナケレバナラヌ。

4、今回ノ聖戰ヲ契機トシ、多年ニ亘ル日支提携ノ禍根ヲ清掃シテ東洋ノ恒久的平和ヲ確立セネバナラヌ。故ニ、天人共ニ容サザル共匪ニ附和シ、又ハ區々タル經濟的利益ニ眩惑シテ、支那ガ東洋ノ一環トシテ負擔セル重責ヲ忘レ、或ハ本末輕重ヲ誤リテ徒ニ他國ノ使喚ニ亂舞シ、以夷制夷ト云フガ如キ自殺的陋政策ヲ踏襲スルモノデアツテハナラヌ。

5、國際的義務ヲ履行スル意思ト、カヲ有スルモノデナケレバナラヌ。

二、新政權ニ對スル助成

以上ノ如キ要件ヲ具備スル新政權ノ擡頭シタル時ハ、何國ガ之ヲ支援助成シテモ、決シテ不法ヲ構成セザルノミナラズ、寧ロ滿洲事變以來英國ガ主動的勢力トナリ、幾度カノ國際會議ニ於テ金科玉條視シタル九國條約第一條第二項規定ノ精神並ニ聯盟規約第二十二條所定ノ精神ニ合致スルモノト云ヒ得ルデアラウ。

果シテ然リトセバ、更生支那ノ新政權ヲ助成スル方策ヤ如何。コレニ政治的、經濟的、文化的等各種ノ範疇ニ屬スルモノガアル。シカシ、先ヅ今次事變ノ原因ノ一端ヲ再檢討シテ、將來ノタメ彼我共ニ反省ヲ要スベキ一端ノ指摘ヨリ之ヲ始メヨウ。

A、日支兩國民ノ反省ヲ要スベキ事項

イ、日支衝突ノ根本的原因トシテ何人モ先ヅ支那ノ排日、抗日、侮日ノ暴戾不法ヲ云フ。吾人モ亦大聲疾呼シテ眞ニ然リト言ハザルヲ得ヌ。ソレト同時ニ飽ク迄モ之ヲ膺懲シテソノ猛省ヲ促サネバナラヌ。シカシ、我が方トシテモ亦何故ニ支那ヨリ排日、抗日、侮日サレルニ至ツタカノ理由ニツキ、大國ノ襟度トシテコレヲ省察スルノ要ハナキカ。日支兩國ガ所謂同種同文、唇齒輔車、一葦帶水ノ關係ニアルノミナラズ支那ノ領土保全ノ爲メニ國家ノ存亡ヲ賭シタ程ノ我が國ガ、カクモ賤劣ナル排日、抗日、侮日ト云フガ如キ忘恩的行爲ヲ以テ應酬サレルガ如キハ、實ニ奇々怪々ト言ハネバナラヌカラダ。

惟フニカクノ如キハ、支那ノ痼疾トモ云フベキ陋習ニ因ル所最モ大ナリト雖モ、我が方ニアリテモ亦從來遺憾ノ點ナシトシナイ。例ヘバ

1、我が國ノ從來ノ外交ガ自主ヲ目指シテ必ズシモ自主ナラズ、爲メニ幾度カ時人ノ義憤ヲ勃發セシメタルコトハ人ノ能ク知ル所デアル。支那ハコレヲ見テ、我が國ガ歐米ノ前ニ跪坐シ、自國ニ對シテハ、強傲尊大ノ態度ヲ採ルモノノ如クニ牽強附會シテ、一面我が國ヲ制スルニ歐米ヲ以テスル陋策(以夷制夷)トナリ、他面我が國ヲ目スルニ道義的沒落ヲ以テスルニ至ル。惟フニ強者ノ前ニ跪坐シ、弱者ノ前ニ高壓的ナルハ正ニ道義心ノ沒落デアル。シカシ、唯問題ハ我が國ニカクノ如キ事ガアリヤ否ヤデアル。故ニモシ不幸ニシテコレアリトセバ他ノ信賴ヲ得ルニ足ラヌ。東洋ニ於ケル安定勢力トシテノ威信ノ爲メニ、マタ大國ノ襟度ノ爲メニ、外交ハ飽ク迄モ自主的ニ、國人ハ在內タルト、在支タルトヲ問ハズ、益々紳士道ヲ守リテ、支那人ヲ徒ニ輕侮スルガ如キ事ヲ止メネバナラヌ。又モシコレ無シトセバ、誤レル支那人ノ蒙ラ

啓キテツノ非ヲ教正スベキデアラウ。

2、我が國ガ善隣ノ友邦トシテ、支那ノ救亡圖存ニ寄與シタル所ハ決シテ歐米ノ夫レニ比スベキデナイ。シカシ、喉元過グレバ熱サヲ忘レルデアル。加フルニ、我が國ノ遠算ヲ拱手傍觀シテ居ル間ニ、難中ノ難タル支那ノ幣制改革ハ英人リース・ロスノ手ニ依リテ成就シタ。鐵道制度ノ改正モ英人ハモンド將軍ヤ、カーク・パトリックノ功績ニ俟ツ所ガ多イ。昨夏中央ト西南派トノ對立抗爭ニ際シテモ、英大使ヒユウゲツセンヤ、香港總督カルデコットノ居中調停ノ功ハ没スベキデナイ。學良ノ介石逮捕ノ西安事件ニ於テモ、救ヒノ手ヲ伸シタノハ、ヒユウゲツセンヤ、英人顧問ドナルドノ手ノ延長デハナカツタカ。古キハ暫ク之ヲ措クモ、最近世界ノ耳目ヲ聳動セシメタル支那國內ノ重大案件中、東洋ノ安定勢力ヲ以テ自任スル一葦帶水ノ我が國ニ依リテヨリモ、一萬數千軒ノ彼方ニ在ル英國ノ手ニ依リテ解決サレタルモノガ、ムシロ多クハナカツタカ。目前ノ打算ト、功利ニ敏感ナル支那人ノ眼ニハ、一體コレガ何ント映ジタデアラウカ。

3、世界ノ14ヲ領有セル大英帝國ガ、尙飽キ足ラズシテ一八四二年、香港ノ割讓ヲ受ケテヨリ以來、コレヲ據點トシテ全支、殊ニ支那ノ心臟部タル長江流域ニ經濟的、金融的、文化的勢力ヲ扶殖シ、更ニ寶庫印度ノ外壁トシテ西藏、西康、雲南地方ニ虎視眈々タルハ既ニ世界周知ノ事實デアアル。シカシ、コレヲ世界人ガ殊ニ日本人ガ從來微カモ不思議ガラズ、却ツテコレヲ英國ノ在支優越權ト稱シ、ソノ警察的任務迄モ負擔シテソノ尊重ニ惟レ努メルガ、地理的ニ、歷史的ニ、經濟的ニ、文化的ニ一切ノ條約ヤ協定ヲ超越シタ特殊關係ヲ有シ、殊ニソノ保全ノタメニハ國家ノ存亡ヲ賭シテ他ノ何國ヨリモ最モ重大ナル責任ヲ

盡シ、從ツテ條理上他ノ何國ヨリモ最モ大ナル發言權ヲ有スル筈ノ我が國ガ、尊キ犧牲ノ血ヲ流シ、骨ヲ埋メタル土地、獨逸宰相ビュウロウ公ノ所謂「清國ノ外ニアル滿洲」ノ一部ニ離脱シ、北支ヘノ進出デスラ右顧左眙シ、事變後ニ於テサヘ、尙北支ト云ヒ、全支ト言フ者ノ鮮イノモ亦事實デアアル。支那ハマタコノ事實ヲ何ト見ルカ。

4、安西五年以來約四十年間、不平等條約下ニアリシ我が國ガソノ撤廢ニ成功スルヤ、ソノ跡ニ學バントシテ我が國ニ留學シ、日露ノ役後ハ更ニ其ノ數激增シテ、強露ニ對スル我が國勢ノ驚異的躍進ガ如何ナル理由ニ因ルカノ研究ニ没頭シタ支那留學生ガ、學業成リテ歸朝スレバ、ソノ翌日ヨリ排日ノ指導者ニ化ストハ、餘リニモ皮肉ナル事實デアアルガ、コレハ一體如何ナル理由ニ因ルカ。口、他方支那側ニ於テモ亦今次ノ事變ヲ契機トシテ左記諸點ニ對シ、省察シ、自戒シ、且ツ他山ノ石トシテ更生スルニアラザレバ、日支ノ親善提携ハ愚カ、支那自體ノ運命ノ爲メニ百害アツテ一利ナキコトヲ覺悟セネバナラス。

1、「以夷制夷」ノ對外的陋政策ヲ弄ブノハ、單リ支那ノミニ限ラス。從ツテソノ成敗利鈍ノ國際的事例モ、古今東西ニ之ヲ探求シテ鮮シトシナイ。シカシ、コレガ爲メニ社稷ヲ危殆ニ導キ、遂ニ國家ノ滅亡又ハ政府ノ崩壞ヲ結果スルニ至リテハ、國家生活上コレニ過グル不幸ハ他ニアリ得ナイデアラウ。伊、エ紛爭ニ際シテ、エ國ガ餘リニモ國際聯盟、殊ニ英國ノ自國本位ノ不純ナル動機ニ因ル策動ニ信賴ガ過ギテ三千年ノ歴史ヲ有スル國家ハ遂ニ滅亡ノ悲運ニ逢着シ、マタ西國ノ内亂ニ於テ、政府軍ハコミンテルンノ、

實ハソ聯ノ宣傳ト暗躍トニ誤ラレテ、事志ト違ヒ、遂ニフランコ政權ニソノ名ヲナサシメタルガ如キハ、最近ニ於テ世界ノ耳目ヲ聳動セシメタル事例ノ最モ尤ナルモノデアル。之ヲアリ體ニ言ヘバ、エ國ノ滅亡ハ、英國ノ不純ナル策動ノ結果デアリ、西國政府ガ今ヤ顛落ノ運命ヲ辿リツ、アルノハ、フランコ將軍ノ猛擊ニヨルト言ハンヨリハ、寧ロコミンテルン乃至ハソ聯ノ赤禍ニ負フ所最モ大ナリト言ハネバナラス。氣息奄々タル國民政府ニシテ、今尙理性ノ光ヲ失ハズ、億兆民衆ノ起死回生ヲ念願スルナラバ、翻然トシテ悟道シ、斷ジテ第二ノエチオピア、又ハ第二ノスペイン政府ニナル勿レ。

2、日支兩國ガ唇齒輔車ノ關係ニアルハ、國家創建ノ當初ヨリ日支ノ自然的、絶對的關係ニシテ、單ニ經濟的利益ヲ紐帶トスルガ如キ關係ノソレトハ、斷ジテ同日ノ論デハナイ。故ニ支那ノ領土保全ト稱シテモ、我が國ハ所謂唇亡ビテ齒寒キガ故ニ、國家ノ存亡ヲ賭シテ迄モコレニ邁進セザルヲ得ナイニ反シ、他ハ唯經濟的利益ノ獲得ヲ目指シテノミ之ヲ云フ。コレヲ換言スレバ、我が國ノ支那ノ領土保全ハ全ク生命ノ問題デアリ、他ハ僅カニ經濟的打算カ、又ハ功利ノ問題ニシカ過ギヌ。事理ヲ是非スルニ透徹シタル明アラバ、ソシテ自己ト自國家ノ秩序ト、安寧幸福ヲ欲スルナラバ、支那ノ億兆民衆ヨ、能クコノ間ノ消息ヲ知レ。

3、支那ノ先覺者ト云ハレル憂國ノ士ガ、造次ニモ、顛沛ニモ切齒扼腕シテ措カズトナスモノハ、所謂不平等條約ト、失地トデアル。シカシ、コノ失地ト不平等條約トハ、阿片戰爭以來、支那自體ノ積弱ニ乗ジタル英國、其ノ他白人國ノ帝國主義的所産デアリ、マタソノ累ノ深刻化スル所、遂ニ支那ノ分割、支那

ノ國際管理ト云フガ如キ惡化ノ一路ヲ辿リテ、國家ノ命脈將ニ累卵ノ危殆ニ瀕シタルコトモ一再デハナカッタ。コノ時ニ當リ、敢然トシテコレヲ阻止シ、支那ノ獨立國トシテノ威信保持ニ寄與シタノハ、今ヤソノ支那ヨリ排日、抗日、侮日ノ對象トサレタル善隣ノ友邦我が帝國デハナカツタカ。故ニ「血ハ水ヨリ濃シ」トハ、支那ト雖モ、コノ明白ナル事實ヲ抹殺セヌ限り、コレヲ否定シ得ナイコトヲ自戒スベキデアラウ。

以上日支双方ニ於テ、兩國ノ眞乎タル親善提携ヲ確保スル爲メ、互ニ自戒自肅スベキモノノ一端ニ觸レタ。以下コレヲ救正善導スベキ自他ノ方策ヲ見ルニ

B、文化的方面

- 1、支那ノ教育方針ヲ拔本塞源的ニ是正スルコト
- 2、教育制度ノ改善
- 3、教員養成機關ノ設置及ビ改善
- 4、日本人ノ教育顧問ヲ招聘スルコト
- 5、在支日本語學校ノ設置
- 6、支那ニ、特ニ主要都市ニ日本ノ言論機關ヲ設置
- 7、保健、衛生事業ノ爲メニ病院ノ建設
- 8、支那留學生ノ招致、而シテ寄宿舎、俱樂部ノ設置提供

9、内地ノ日本人教育ニ於テ、日支提携ノ新意味ヲ會得セシメ、又支那語ノ修得ニ便宜ヲ與フルコト。
10、右ニ要スル經費ノ一部ハ、日支事變ヲ契機トシテ惠マレタル景況ニアル財閥ノ奉仕ニ俟ツテ捻出スルコト

C、經濟的方面

一 次ノ如キ諸政策ノ樹立及ビ遂行ガ考ヘラレル。固ヨリ現地情勢ニ即應シテ緩急前後ノ別ハアルデアラウ。指導原理トシテ統制、自由ノ二主義ヲ見ル。シカシ、我が國傳統ノ正義感ト、日支提携ノ永遠ノ利益ハ、少數財閥ノ獨占ト、目前ノ弱肉強食の射利ヨリ、ハルカニ尊イデアラウ。

二 農業政策

支那人人口ノ約八割ヲ占ムル農民ノ貧困ヲ救済スルコトハ、支那自體ノ運命ヲ左右スル最モ重大ナル問題デアル。

(イ) 稻、麥、高粱、粟、玉蜀黍、蠶絲、棉花、桐油、落花生、煙草、茶等ヲ産シテ、世界ノ大農業國トシテ知ラレタ支那農民ニ飢色アリ、野ニ餓殍アルハ、一見奇トスルニ足ル。シカシ、ソノ由ツテ來ル所ヲ探求スレバ、能クコノ間ノ消息ヲ窺知スルコトガ出來ル。

1、耕作面積ガ支那全面積ノ約一〇%乃至一七%シカナイ。獨逸ノ四三%、伊ノ四二%、英印ノ四五%ニ比シテ極メテ僅少ト言ハネバナラヌ。而カモ偏在セルガ故ニ、河北、山東、河南ノ北支三省ニ全支ノ四五%ノ耕地存シ、山西、陝西、甘肅、内蒙、新疆地方ノ如キハ、僅カニ三%ニシカ過ギヌ。交通不便ニシ

テ配給意ノ如クナラザルガ故ニ、彼此相俟ツテ農村飢饉ヲ屢次見ル。尙農家一戸當リノ耕地ハ、北支地方二八畝、西北地方三五畝、長江下流地方二三畝ニシテ、平均一戸當リ一二畝トナル。因ミニ一畝ハ我が六畝強ニ當ル。

2、土地ノ所有關係ニ就テモ、農民ノ二%ニシカ過ギヌ大地主ガ耕地面積ノ四五%ヲ有スルニ反シ、農民ノ七〇%ヲ占ムル小農ハ僅カニ耕地面積ノ六%シカ有セヌ。茲ニ小農ノ耕地不足、從ツテ小作料ヲ高クシテ農村問題ノ紛糾ヲ見セ、近時共產黨ノ地主虐メノ策動ハ、更ニコレニ拍車ヲカケテ居ル。

3、中央及地方軍閥ノ苛斂誅求
支那ノ軍事費ハ、毎年約八億元内外デアラウ。右ノ中、南京政府ガ、地方軍閥ノ補助費トシテ支給スル年額ハ、大體二億五百萬元程度デアル。

4、兵變、暴動等ノ人禍、洪水、旱害等ノ如キ天禍ノ頻發

5、金融ノ梗塞、金利ノ暴率

6、交通機關ノ未發達、從ツテ農産物ノ配給關係ノ不良

7、粗笨農ノ域ニ今尙アルコト

(ロ) 右ノ改善策トシテ

1、開墾ヲ助成シテ耕地面積ノ増加ヲ企圖スルコト

2、治水、利水事業ヲ起スコト

- 3、經營ヲ粗笨ヨリ集約ニ、而シテ増産獎勵、品質ノ改良
- 4、土地制度、土地配分方法ノ研究
- 5、生産、購買、販賣ノ統制、農業倉庫ノ設置
- 6、金融機關ノ改善トソノ利用
- 7、交通機關ノ發達ニ依ル受益
- 8、關稅ノ低減、稅制ノ改革、支那ノ本年度豫算總額八十億六十四萬九千元ニシテ未曾有ノ巨額ト言ハレテ居ル。而シテ歲入總額中稅收總額ハソノ約八割四分ヲ占メ、ソノ稅收中實ニソノ九割六分ハ大衆課稅タル關稅(約三六九百萬元)鹽稅(二八八百萬元)統稅(一七五百萬元)菸酒稅、印紙稅ノ負擔スル所デア。誅求ニ惱ム大衆ノ租稅苦ハ察スルニ餘リアル。
- 9、裁兵ヲ斷行シテ、從來ニ於ケル軍閥ノ苛斂誅求ヨリ免レシムルコト
- 10、中央、地方ニ右諸計畫ノ樹立、ソノ實行ノ監督、コレニ必要ナル財源ノ捻出等ヲ研究スル國策機關ヲ設置スルコト

三 交通政策

鐵道、道路、水路、空路ノ別ガアル。何レモ産業ノ開發、文化ノ普及、國防ノ擴充ノ爲メニ甚ダ重大ナル使命ヲ有スル。故ニ國民政府ハ近來非常ナル熱意ヲ用ヒ、重要國策ノ一トシテソノ建設開設ニ努力シタ。以是、カノ孫文ノ十年間ニ二十五萬哩ノ鐵道敷設ノ豪語ハ暫クコレヲ措クモ、一九三六年現在ニ於テ、公

私鐵道總延長一萬軒餘ニ及ビ、鐵道部管轄ノ國有鐵道ハ一六線、九、三九四軒ニ達ス。空路ノ如キモ、最近長足ノ飛躍ヲナシ、今ヤ定期航空路ハ十四線、一六、三二〇軒ニ及ブ。中國航空公司、歐亞航空公司、西南航空公司ハ其ノ樞軸ヲナス。

シカシ、茲ニ特ニ留意ヲ要スベキハ、支那ノ交通機關ハ殆ンド外資ニ依リテ建設經營サレテ居ルコトデア。例ヘバ、鐵道借款總額十三億一千七百萬元中、外債總額ハ、十億四千六百萬元ニ及ビ(一九三七年六月末現在)航空事業ニ於テモ、西南航空公司以外ハ、外資ト外國技術トニ依リテ經營サレテ居ルコトハ餘リニモ周知ノ事實デア。更ニ水運ノ如キモ、英、日、米、佛、伊等ノ汽船ニヨリテ運營セラレテ居ルノミナラス、英國ガ一八七六年九月ノ芝罘條約ニ依リテ、日、米、白、伊、佛、伯、丁、蘭、墨、西、葡等ハソノ後ノ最惠國條款ニ依リテ、支那ノ沿岸、河川何レニ於テモ自由ニ航行シ得ルノ權利ヲ獲得シテ今日ニ及ベルガ如キコレデア。而シテコレ等ノ事實ハ、如何ニコレ等ノ事業ガ列國投資ノ競争ニ委セラレ、ソノ制覇ヲ遠リテ尖銳ナル列國神經ノ交錯スル所トナリ、コレガ因トナリ、禍トナリテ、時ニ列國ノ國際管理、又ハ列國ノ植民地化、乃至ハ支那側ノ排外運動ノ動機トナリタルカノ消息ヲ如實ニ示スモノト言ヒ得ル。更ニ今次ノ事變ノ如キモ、ソノ原因ヲ深く廣ク探求シテソノ核心ニ及ブ時、又ハ事變以來非禮極マル某々國ノ暗躍ヲ凝視スル時、思ヒ半バニ過グルモノガアルト共ニ、我が國ノ大陸政策ガ、將又、東洋ノ安定勢力トシテノ我が國ノ使命ガ如何ニ重大デアルカ、如何ニ細心周到ナル用意ト、毅然タル態度ヲ必要トスルカヲ肅然トシテ痛感セシム。

四、金融政策

米國ノ貨幣學者ケメラ博士ノ提唱シタル漸進的金本位通貨制度ノ實施法案ニ示唆サレ、次デ民國二十四年(昭和五年)十一月、英人リース・ロスヲシテ不減ノ名ヲナサシメタル國民政府ノ幣制改革ハ、紙幣ノ發行權ヲ中央、中國、交通ノ政府三銀行ニ特許シ、且ツ銀國有ヲ斷行シテ、金融的ニ支那ヲ英國ノ屬國化シタモノデアアル。コレガ爲メニ、

1、地方軍閥ハ、現銀ノ保有ト、紙幣ノ發行權ヲ禁止セラレタルガ故ニ、軍費ヲ捻出スル財源ニ窮シ、已ムヲ得ズ、中央政府ノ威令ニ屈シ、茲ニ多年望ンデ得ラレザリシ支那國軍ノ統一ヲ畫期的ニ結果シ

2、一般國民ハソノ保有スル現銀ヲ政府ニ提供シ、其ノ代價トシテ紙幣ノ交付ヲ受ケザルヲ得ザリシガ故ニ、茲ニ政府ト共存共榮ノ連帶關係ヲ生起セシメテ、反政府的行動ヲ抑制セシメタルハ勿論、コレヲ支持強化スルノ必要ヲ痛感セシムルニ至ツタ。惟フニ政府ノ崩壞ハ、チ彼等ノ所持スル法幣ヲ一朝ニシテ反古化セシムルカラデアアル。

コレ等ノ事實ハ、最近特ニ高調セラレタル民族意識ノ擡頭ト相俟チテ、支那軍ノ連戰連敗、今ヤソノ國都スラ我が軍ノ掌中ニ歸シタリト雖モ、中南支ノ民衆ヲシテ、尙蔣介石ヲ支援シ、氣息奄々ナガラモ、ソノ餘燼ヲ重慶ニ留メシム。此ノ如キハ正ニ國民ノ經濟生活上、ソノ動脈トシテ金融ガ如何ナル使命ヲ有スルカラ示唆スルト共ニ、先ヅ動亂ノ支那ニ於テ、誤レル蔣政權ヲ一日モ速カニ崩壞セシメンガ爲メ、而シテソノ後ニ來ルベキ更生支那ニ於テ、我が國ノ經濟的進出ニ依ル日支ノ親善提携ヲ可能ニセンガ爲メ、特

ニ我が國ノ金融的進出ノ急務ナル所以ヲ痛感セシム。惟フニ我が皇軍ノ精銳ハ、固ヨリ古今東西ニ其ノ比ヲ見ナイ。サレド、コノ我が國ニ一リース・ロスノ慧眼ヤ、一サツストーン財閥ノ類ナキヤ否ヤ。而シテ、今ヤ支那ノ通貨ヲ米國ノドル・ブロツク(昨年五月十二日成立シタル米支銀協定、本年七月十二日更正繼續決定シタル新協定ニ依ル)ヤ、英國ノ磅ブロツクヨリ救正スベキノ秋ナラズヤ否ヤ。

3、國民政府ハ、國民ヨリ提供セシメタ現銀ヲ商品化シテ、コレヲ英米ニ賣却シ、以テ英米貨ノ爲替資金トシテコレヲ保有シタ。コレガタメニ現銀ハ盛ニ英米ニ輸送セラレ、一九三五年一月、上海ニ於テ保有セラレタル三億三千萬餘ノ現銀ハ、昨年六月現在ニ於テ僅カニ是ガ七千五百萬元餘ニ激減シタ。更ニ驚クベキハ、當時ノ紙幣發行額ハ實ニ、十一億四千萬餘ノ巨額ニ達シテ居タ事實デアアル。而カモ法幣トシテノ信用ハ儼然トシテコレヲ維持シテ居タ。英米金融ノ背後の勢力ノ寄與ニ歸スベキデアアル。依是觀之、北支ニ、又ハ中南支ニ今ヤ現銀ノ保有鮮キヲ憂フルニ足ラヌ。新政權ヲバツクスル他ノ金融的勢力ト、ソノ所屬スル國家ノ實力如何ニ依リテ、新政權ノ發行スル紙幣ハソノ信用ヲ保有スルデアラウカラデアアル。

五、關稅政策

1、關稅制度ノ改正

英人ガ總稅務司タルノ特權ヲ享有シテヨリ以來、關稅行政ハ英人官吏ガソノ主動的勢力トナリテ運營シテ來タ。シカシ、一八九八年二月十三日、駐支英公使マグドナルドガ總理衙門ヲシテ、英國人ヲ以テ總稅務司タルノ職ニ當ラシムベキコトヲ約セシメタノハ、「英國ノ對支貿易ガ他國ニ比シテ優越ノ地位ヲ占ムル

限り」ト云フ條件ヲ前提トシテ居タ。一八九八年五月、支那政府ハ英國公使ニ對シ、再ビ同一ノ證言ヲ與ヘ、更ニ華府會議ノ際、支那全權ハ支那海關現行制度ヲ變更スル意思ナキ旨ノ聲明ヲシタガ、シカシ、ソノ後事情激變シテ英國ノ對支貿易ハ、列國中僅カニ第四位ノ命脈ヲ今ヤ保持スルニ過ギヌ。故ニ今次ノ事變ヲ契機トシテ、全般的ニソノ機構ヲ改革スベキデアラウ。

2、税關ノ攝收

税關攝收及ビソノ後ニ來タルベキ關稅ノ外債擔保ノ負擔部分ノ割當ハ、滿洲國ノ攝收シタル場合ニ準ジテ、決行及ビ負擔スベキデアラウ。

3、税率ノ低減

支那ノ幼稚ナル工業ヲ第一次的ニ保護スルカ、今ヤ飢餓線上ニ彷徨セル全國民中八割ノ農民ヲ第一次的ニ保護スルカハ、重要ナル國策トシテ、自ヅカラ緩急前後ノ別ハアルベキダ。シカシ、刻下ノ情勢トシテハ後者ノ保護ヲヨリ急務トシテ、コレニ左袒スベキデアラウ。殊ニ、民國十九年五月、我が國ノ承認ヲ獲得シテ關稅自主權ヲ確立シテヨリ以來、大衆ノ犧牲ニ於テ關稅收入ノ激増ヲ目指シ、數回ニ亘ル税率ノ引上ヲ斷行シテ居ルカラダ。

D、政治的方面

1、政治的體制ニ就テ

十四日樹立ノ支那臨時政府ノ機構ハ、三權分立ノ思想ニ基ク民主共和ノ體制ヲ採ツテ居ル。シカシ、支

那ノ歴史ヲ通觀シ、國民ノ政治思想ヤ、民族精神ヲ考察スレバ、北支那人ノ、南支那人ニ比シテ文化ノ程度低ク、感受性魯鈍、從ツテ保守的傾向ハアルガ、秩序ヲ好ミ、強力ナル權力ニ依リテ統治セラレ易イニ反シ、南方支那人ハ、議論ニ長ジ、斬新ナル主義ニ移リ易ク、排他的感情ニ富ミテ復讐心強ク、黨派心、爲メニハ、昨日ノ友モ今日ノ敵トスルヲ憚ラザルガ如ク冷酷ニシテ、南北ノ調和統一ヲ至難ニシテ居タ事ハ事實デアルガ、民主共和ノ政治的體制ハ、結局支那ノ國家國民ノタメニ妥當セザルモノデハアルマイカ、其ノ理由トシテ

(1)、清朝崩壞ニ際シ宣統帝退位ノ上諭ニ於テ、「朕亦何ヲ忍ンデ一身ノ利害ヨリ億兆人民ノ希望ニ逆ラハシヤ、茲ニ外大勢ヲ視、内輿論ヲ詳カニシ、特ニ皇帝統治ノ權ヲ公衆ニ與ヘ」給ヒテヨリ、既ニ二十有餘年ヲ經過シ、其ノ間國本ヲ培養シ、人倫ヲ敦厚ニシテ國民精神ヲ作興シ、文化ヲ高メ、保育ニ努メテ、國家ノ威信ヲ外ニ保持シ、國民民福ヲ内ニ増進スルニ、必ズシモ短カシトシナイ。然ルニ、却ツテ世風ノ向上ヲ見ズ、人倫頹廢シテ道德地ヲ拂ヒ、自由ハ放肆ニ墮シ、平等ハ惡平等ニ化シテ國內事端ヲ繁クシ、國外善隣ヲ冒瀆シテ國運澁滯、民生ニ飢色漂ヒ、生靈正ニ塗炭ノ苦シミニ沈淪シテ居ル。而カモ要路ノ者、常ニ閥閥ヲ牽キ、朋黨ト結ビテ國政ヲ私議シ、公器ヲ濫用シテ私利ヲ圖リ、内憂紛々トシテ生起スレバ、外ニ事ヲ構ヘテ之ヲ轉嫁シ、而カモ天人共ニ容サザル容共赤化ノ害毒ヲ浸透セシメテ、社稷將ニ累卵ノ危殆ニ瀕ス。コレ民主共和ノ現政權ノ政治惡ニアラズシテ何ゾヤ。

(2)、故ニ怪傑袁世凱ハ、皇太后ノ諭旨ニ上奏シ、「國會ハ共和ニ傾カズ、君主立憲ノ望ミアルヲ思ヘリ。

然ルニ近時紛々電請スル者、多クハ共和ヲ主張ス、臣獨リ座シテ深ク思フ毎ニ淚下ルト稱シテ、共和制ノ支那ニ妥當セザルコトヲ豫見シタ。尤モ袁ニ既ニ帝王ノ野心アリテコノ言ヲ爲セシヤ否ヤハ、寡聞ニシテ之ヲ知ラヌ。

(3)、更ニ清朝ヲ倒壞シタル支那革命ハ、米國式民主共和ノ政治形態ニ魅力ヲ感ジタルニアラズシテ、我が國ガ明治維新以來、國勢躍進的ニ興隆シテ、安政五年ヨリ明治三十二年迄約四十年間苦闘シタル不平等條約ノ束縛ヨリ脱シ、又強露ヲ膺懲シテ一躍世界ノ雄邦ニ伍シタルヲ見テ、彼等モ亦我が國ノ如キ組織的有機的強力ナル國家ヲ構成シテ、國恥タル不平等條約ノ撤廢、失地ノ恢復ヲ企圖セントシタルニ因ル。故ニ日清役後殊ニ日露戰後ハ、我が國ニ來リ學ブ者踵ヲ接シ、而カモ彼等ノ研究ノ對象ハ我が國ノ立憲君主制、殊ニ明治維新ノ變革ノ跡デアツタ。支那ノ革命服ガ、彼等ノ我が國ニ留學セシ當時ノ學生服デアツタ事實ニ依リテモ、能クコノ間ノ消息ヲ窺知スルニ足ル。

2、馬上ヲ以テ統治スベキカ

劍ヲ以テ取リタル者ハ劍ヲ以テ治ムベキカ、沛公馬上ヲ以テ天下ヲ席卷シ、而カモ馬上ヲ以テ天下ヲ治ムベカラズト云フ。ソノ是非ノ論ハ、唯單ニ机上ノ空論ヤ、書齋的研究ニヨリテノミ之ヲ止揚スベキデナク、廣ク古今ノ國際的事例ノ成敗ニ鑑ミ、又ソノ統治セラルベキ國民ノ政治的訓練、道德、文化等ノ程度、統治者ト被統治者トノ關係、並ニ國際情勢ノ向背等ニ依リテ之ヲ決スベキデアラウ。

試ミニ、コレヲ支那ノ事例ニ徴スルニ、袁世凱ノ統治ハ之ヲ武力ヲ以テ爲シ得ザリシガ故ニ、樞花一朝

ノ夢ト化シテ崩壞シ、蔣介石ノ天下ハ武力ヲ以テ之ヲ獲得シ、武力ヲ以テ之ヲ統治シ、武力ヲ以テ、マタ顛落ノ運命ヲ迎リツツモ、今尙ソノ氣息奄々タル命脈ヲ保ツ。ソノ他、興亡常ナキ支那數千年ノ歴史モ概ネ武力闘争ノ連鎖タルノ觀ヲ呈シテ、支那王朝ノ隆替、秩序ノ維持ハ、特ニ強大ナル武力ノ存在ニ俟ツ所頗ル大ナルモノアルヲ思ハシム。果シテ然リトセバ、皇軍今ヤ破邪顯正ノ劍ヲ振ヒテ暴支ヲ膺懲シ轉戰茲ニ數ヶ月、向フ所頑敵ヲ打倒シ、過グル所恰モ颶風一過シテ齊シク陽光ヲ仰グガ如ク、秩序恢復シ、萬民簞食壺漿シテ之ヲ待ツ。軍政施スベキニ似タリ。然リト雖モ、今次事變ニ於ケル皇軍出征ノ使命ハ、一面自衛權ヲ發動シテ、在支同胞ノ生命財產ト、既得權益ヲ擁護シ、他面正義人道ニ背反シテ覺醒ナキ暴支ヲ膺懲シ、ソノ翻然タル反省ヲ促シ、以テ眞乎タル日支ノ親善提携ト、東洋永遠ノ平和ヲ確立スルニアリテ寸毫ト雖モ他意ナシ。故ニ俄カニ軍政ヲ謂フハ斷ジテ派兵ノ使命ニアラズ、又我が大陸政策ノ意圖デモナイ。シカシ、支那ニ於テ秩序ヲ維持シ、平和ヲ招來シテ億兆民衆ノ福祉ヲ増進確保スルニハ、武力ノ極メテ肝要ナル地位ニアルコト前掲ノ如ク、又戰塵尙收ラザル刻下ノ情勢ニ於テハ特ニ其ノ必要ヲ見ル。故ニ、更生支那ニ新政府確立シテ、自ラ秩序ヲ維持ニ任ジ、國利民福ノ増進ヲ期シテコレニ邁往スルニ至ル迄、我が國ガコレガ爲メニ一臂ノ勞ヲ借スハ、善隣ノ友邦トシテ、又特ニ東洋ノ安定勢力トシテ負擔セル重大ナル使命ト云フベキデアラウ。故ニ殘敵崩壞スルモ、尙暫定的ニコノ使命達成ニ妥當スル最少限度ノ駐兵ヲ必要トスル。コレガ爲メニ、假令他國ノ疑惑アリトスルモ、斷ジテ右顧左眄スルコトナク、コノ際コソハ必ズ佛造ツテ魂ヲ入レネバナラヌ。

3、裁兵

事變前、支那ノ陸軍ハ中央軍、地方雜軍合シテ約二百萬、ソノ軍事關係豫算ハ民國第二十五年度ニ於テ五億四千五百萬元ニ及ビ、總豫算中國家收入ノ七三%ヲ占メ、本年度ニ至リテハ更ニ之ニ七千萬元ヲ加フ。コレガ裁兵ニ依リテ激減スレバ、ソレ支國民ノ福祉増進、文化ノ向上ニ充當スルコトヲ得ル。ソノ民衆ヘノ利益ノ甚大ナルハ、固ヨリ茲ニソノ贅言ヲ要セヌ。

唯問題ハ裁兵ノ内容デアアル。孫文ノ所謂兵工政策タル歸農、治水、利水、開墾、交通機關建設等ノ土木事業ニ採用、更ニ優良ナル者ハ簡拔シテ保安隊ニ、又ハ國防軍ニ改編スルガ如キハ其ノ一方策トナルデアラウ。因ミニ、更生支那ノ國防ハ、保境安民ヲ以テ足り、斷ジテ抗日戰爭ノ意圖ヲ以テ建設セシムベキデナイ。

4、國民黨ノ解消

排日、抗日ノ激化浸潤ハ國民黨ノ組織網ニ負フ所大デアアル。故ニソノ解消ハ排日、抗日ノ解消ニ裨益スルノミナラズ、黨務費年七百萬元餘ヲ他ノ有用ナル財源ニ充當スルコトヲ得ル。尙黨費ヲ國費ヨリ支辨スルハ、支那ナラデハ見ラレヌ現象ダ。

5、各種顧問ノ提供

人格崇高、識見高邁、手腕卓越ノ士ヲ選ブベク、枯木死灰ノ類ヲ以テコレニ充ツベキデナイ。

6、外交官、領事官等ハ之ニ特別任用ヲ以テスベキカ。

我が國ノ遣外使臣中、法規ニ通ジ、語學ニ堪能ナル者ハ多イ。シカシ、膽斗ノ如ク、又樽俎折衝ノ間ニ才氣縱橫ニ喚發シ、克ク國威ヲ中外ニ宣揚セシメタル小村侯ノ如キヲ見ズ、況ンヤビスマークヤ、タレランノ類ニ於テオヤ。シカシ、人無キニアラズ、制度之ヲ出サザルニアラズヤ。官吏任用令改正ノ聲高キ今日、遣外使臣ノ場合ニ於テ其必要ヲ見、特ニ對支ノ場合ニ於テソノ緊切ヲ痛感スル。

7、日支ノ提携ヲ妨害スルガ如キ政治的條約ノ放棄

何人ニモ先ヅ提起サレルノハ九國條約デアラウ。

九國條約ガ、大正十年十一月二十一日第三回極東委員會ニ於テ可決セラレタ所謂ルート四原則ヲ内容トシ、一九二二年二月六日、華府ニ於テ調印、一九二五年八月五日、華府ニ締約國全部ノ批准書ガ寄託セラレテ、發效シ以テ現在ニ及ベルモノナルコトハ、茲ニソノ贅言ヲ要セヌ。爾來支那ニ關スル國際問題ヲ規律スル繩準トシテ、幾度カソノ引用ヲ見タ。シカシ法的規範トシテノ價值ニ至リテハ、俄カニ之ヲ是認シ得ヌ。

1、條約締結ノ動機ハ支那ノ主權、獨立並ニ領土的、行政的保全ト、所謂門戶開放、機會均等ノ美名ノ下ニ、實ハ我が國ノ大陸發展ヲ阻止スル隱匿サレタ惡意圖ニ出テ居ル。故ニ筆陣ヲ以テベルサイユ會議ニ使シテヨリ以來、幾多ノ名著ヲ出シ、ソノ高評一世ヲ風靡セル米國評論家、フランク・サイモンズハ、「ヒューズ氏ハ門戶解放主義ヲ更ニ活用センガ爲ニ、支那ノ精神的後見役タランコトヲ主張シタ。シカシ、コレガ爲メニ、アングロ・サクソン諸國ヨリアヂヤ人排斥立法ニ依リテ締メ出サレテ支那大陸ニシカ進出ノ

餘地ヲ殘サヌ日本ハ、今ヤコノ唯一ノ方面サヘ固ク制限サレルコトニナツタ」ト喝破シタ。

2、締約國ハ支那ノ主權、獨立並ニ領土的、行政的保全ノ尊重ヲ要求サレテ居ルガ、締約國ガ支那ノ領土ニ於テ正當ニ有スル權益ノ尊重ハ之ヲ支那ニ要求シテ居ラヌ。故ニ該條約ノ發效後ト雖モ、支那ハ幾度カ諸外國ノ在支權益ヲ不當ニ侵害シテ涉外事端ヲ繁クシタ。今次ノ日支事變モ亦コノ前轍ヲ踏ミテ起ル。

3、第一條第二項ニ規定スル「支那ガ自ラ有力且安固ナル政府ヲ確立維持スル」爲メ、必要ニシテ正當ナル手段ノ規定ヲ缺グ。故ニコノ目的ニ矛盾撞着スル容共政策ヲトリ、或ハ所謂以夷制夷トイフ如キ陋政策ヲトリテ善隣ヲ冒瀆シ、且ツ國家ヲ自瀆ノ危殆ニ置ク。

4、條約ハ文明國間ノ契約ニシテ、國際義務ヲ尊重スル意思ト、之ヲ履行スル能力アル者ノ間ニ締結サレル。隣邦支那ハ不幸ニシテ今ニコノ資格ヲ有セヌ。

5、アントンメンガー曰ク、本來不平等ナルモノヲ平等ニ扱フ程、不平等ナルモノハナシト、九國條約ハ正ニコノ適例ナリト云フコトガ出來ル。惟フニ日支ノ關係ハ、地理的ニ、文化的ニ、人種的ニ、國防的ニ、經濟的ニ、一切ノ條約協定等ヲ超越セル自然的、絶對的關係ナルニ反シ、他ノ締約國ノ支那ニ對スル夫レハ、唯僅カニ經濟的ノ利害關係ヲ紐帶トスル打算ニシカ過ギヌ。然ルニ該條約ハ、一切ノ締約國ヲ一律平等ニ扱ヒテ、實質的論理ノ公正ヲ無視シテ居ル。

以上ノ理由ニヨリテ、吾人ハ九國條約ノ規範的價值ヲ疑フ。故ニ大聲疾呼シテ夙ニ其ノ廢棄ヲ叫ブ。其ノ理由トシテ、巷間九國條約ヲ以テ華府海軍軍縮條約ト不可分ノ關係ニアリトシ、後者ノ既ニ廢棄サ

レタル今日、前者ノ存續ハ意義ナシト云フ。シカシ、所謂事情變更ノ原則適用ヲ以テ、ソノ妥當ナル廢棄理由トスベキデアラウ。尤モ如何ナル事情ノ變更アラバ、コノ原則ノ適用ニ妥當スベキカ、ソノ適用ノ範圍、即チ條約ノ無期又ハ長期ナルヲ要スルカ、短期モ尙可能ナルカ、適用ノ效力、即チアル事情ノ變更アラバ、當該條約ハ當然ニ消滅スルヤ、一方的ニ廢棄權ヲ生ゼシムルカ、又ハ他ノ承認ヲ俟チテ廢棄サルルカ等ニ就キ、學說ハ紛糾シテ居ル。シカシ、次ハ廢棄理由トシテ妥當ナル事情變更デハアルマイカ。

1、條約ノ企圖スル目的ノ達成ヲ不可能ニスルガ如キ事情生起シタル時、國民政府ノ容共政策ハ善隣ノ友邦ヲ冒瀆スルノミナラズ、支那自體ノ秩序ト組織ヲ崩壞ニ導キテ、國家ソノモノノ運命ヲ危殆ニ瀕セシメタルガ故ニ、コノ事情ノ生起ハ、既ニ條約ノ企圖スル目的ノ達成ヲ不可能ニシタルモノトスルニ足ル。

2、支那ガ東洋ノ一環タル使命ヲ忘レテ、歐米依存ノ以夷制夷ノ政策ヲ採リ、排日、抗日、侮日ノ不法行爲ニ亂舞スルハ、實ニコノ條約ノ存在ニ因ル。斯ノ如キハ、少クトモ當初條文ノ企圖セス、マタ欲セザル事情ノ頻出ト言ハネバナラヌ。

3、本條約ハ廢棄ニ關スル規定ヲ缺グ。故ニ我が國ハ本條約ノ拘束ヨリ脱シ、東洋ノ安定 力タルノ使命ニ邁進シテ、速カニ眞乎タル日支ノ親善提携ト東洋永遠ノ平和確立ニ寄與センガ爲メニハ、斷乎ソノ廢棄ノ通告ヲナス外ナシト思惟スル。コレハ、支那ヲ歐米依存ノ支那ヨリ、アチヤノ支那ニ復歸セシメテ、自國ノタメニ、東洋ノ恒久的平和ノタメニ、支那ガ東洋ノ一環トシテ負擔セル本然ノ使命ニ協力セシムル一助トモナルデアラウ。

結 語

支那事變勃發シテヨリ以來、舉國一致、無敵皇軍ハ破竹ノ勢ヲ以テ北支、江南ヲ席卷シ、今ヤ首都南京ヲ攻略シテ武威ヲ中外ニ張り、銃後國民ハ各ソノ境遇ト職能ニ即シテ奉公ノ限ヲ内ニ致ス。コレ我が國ノ眞姿ニシテ、世界廣シト雖モ、斷ジテ他ニソノ類ヲ見ナイ。

今次事變ヲ契機トスル我が國ノ使命ハ、只管東洋ノ恒久的平和ヲ確立スルニアル。コレガ爲メニ、暴支膺懲ノ徹底ヲ期スルハ勿論、マタ我が國ガ東洋ノ安定勢力タルノ威信ニカケテ、スエズ運河ヲ越セバ、正義ノ觀念ヲ沒却シテ支那ヲ使噉シ、支那ヲ暴戾ニ導キテ東洋ノ平和ヲ攪亂シ、以テ虎視眈々、所謂漁夫ノ利ヲ追求シテ、豺狼ノ如キ他ノ勢力ヲ衝キ、ソノ犬牙錯綜ノ禍根ヲ將來ニ清掃シテ、我が國ノ神聖ナル使命遂行ノ前途ニ横ハル荆棘ヲ芟除シ、更ニソノ次ニ來タルベキ各種ノ恒久的平和工作ノ建設ト、ソノ進捗ニ寄與セネバナラス。

シカシ、古ク事大主義ノ傳統ニ染ミ、マタ功利ト打算ニ慧眼ニシテ、既ニ歐米依存ノ術中ニアル支那ヲアチヤノ支那ニ復歸セシムルタメニハ、ソノ啓蒙的、指導的使命ヲ有スル我が國自體ガ先ヅ東洋ノ安定勢力タルノ眞價ト威信ヲ保持シテ間然スル所ナキヲ期サネバナラス。惟フニ、更生支那ノ文化ヲ啓發指導スルタメニハ、先ヅ我國自體ノ文化的水準ガ卓越シテ居ルコトヲ要シ、支那ノ經濟的、金融的建設發達ヲ助長スルタメニハ、我が國自體ノ經濟的、金融的生活ガ確立セルコトヲソノ先決要件トシ、更ニ支那ノ政治

的形態ヲ示唆シテソノ機能ノ振作ニ寄與センガタメニハ、我が國自體ノ政治的生活ニ於テ、黨利ナク、黨略ナク、私利ナク、我執ナキヲ要スルカラダ、カクシテ、今次ノ日支問題ハ、我が國ノ重要ナル外政問題デアルト同時ニ、必然的ニ我が國ノ深刻ナル内政問題ニ交錯スル。故ニ、モシソレ、刻下ノ超非常時局ニ善處スルニ際シテ、唯單ニ視野ヲ支那ニノミ置キテ、幾多ノ積弊ト、危機ヲサヘ胚胎スル我が國ノ内政問題ノ諸改革ヲ等閑ニ附セバ、コノ未曾有ノ尊キ犠牲ト、國家的、國民的精神ノ更張ノ意義ヲ大半沒却セシムルニ至ルデアラウ。故ニ、益々舉國一致、而シテ減私奉公ノ至誠ヲ致シテ、戦局ノ美ヲ外ニ收メ、錯節タル積弊ヲ内ニ清掃シテ、斷乎諸政ノ更張振作ニ邁進セネバナラス。コレガ聖業ヲ扶翼シ奉リ、マタ幾多ノ忠靈ニ酬ユル所以デアル。(昭和十二年十二月十六日稿)

昭和十二年十二月二十日印刷
昭和十二年十二月二十日發行

高松市昭和町一六〇番地

發行者 藤 本 捨 助

高松市西通町五三番地

印刷者 香 西 榮 太 郎

高松市西通町五三番地

印刷所 株式會社 高松製版印刷所

